

# 新着図書リスト



六、話題の本を入荷しました！

ゆうまっぴ

2階ライブラリー

2024年10月作成

## 女性論とその周辺(性差別・その他人権含む)

書名	出版社	著者名	出版年
三淵嘉子と家庭裁判所	日本評論社	清永聡(編著)	2023
データから読む 都道府県別ジェンダー・ギャップ(ブックレット)	岩波書店	共同通信社会部ジェンダー取材班編	2024
ジェンダーで学ぶメディア論	世界思想社	林香里(編集)、田中東子(編集)	2023
新おとめ六法	KADOKAWA	上谷さくら	2024
女性不況サバイバル	岩波書店	竹信三恵子	2023
完璧じゃなくていい、勇気ある女になろう	海と月社	レシュマ・サウジャニ(著)、岩田佳代子(翻訳)	2024
50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと	左右社	和田静香	2023
性暴力についてかんがえるために	一藝社	齋藤梓	2024
ジェーンの物語 伝説のフェミニスト中絶サービス地下組織	書肆侃侃房	ローラ・カプラン(著)、塚原久美(訳)	2024
おしゃれ防災アイデア帖 日々の暮らしに馴染み、"もしも"の時は家族を守る70の備え	山と溪谷社	Misa	2021
災害と復興の社会学[増補版]	萌書房	立木茂雄	2022
災害女性学をつくる	生活思想社	浅野富美枝、天童睦子	2021
関東大震災 震災者支援に動いた女たちの軌跡	生活思想社	浅野富美枝	2023
女たちの避難所	新潮社	垣谷美雨	2017

## 生き方(子育て・家庭・介護含む)

書名	出版社	著者名	出版年
「親がしんどい」を解きほぐす	KADOKAWA	寝子	2023
これからの子ども・子育て支援 何が大切？何が足りない？	風鳴舎	土谷みち子	2021
0歳から楽しめる ふわふわタオルあそび	学研教育みらい	松家まきこ	2019
家で死ぬということ ひとり暮らしの親を看取るまで	文藝春秋	石川結貴	2023
生きがいについて	みすず書房	神谷美恵子(著)、柳田邦男(解説)	2004
ビジョンの子育て 育児用品ブランドの社員たちが本気で悩み、考え、奮闘した育児の話	KADOKAWA	ビジョン出版プロジェクトチーム(著)、倉田けい(マンガ)	2023
私の「結婚」について勝手に語らないでください。	亜紀書房	クァク・ミンジ(著)、清水知佐子(訳)	2023
私の生理のしまい方	KADOKAWA	原あいみ(著)、関口由紀(監修)	2023
家族、この不条理な脚本 家族神話を解体する7章	大月書店	キム・ジヘ(著)、尹怡景(訳)、梁永山聡子(解説)	2024
わたしを支えるもの すーちゃんの人生	幻冬舎	益田ミリ	2019

## 働くこと(女性の活躍・社会参画含む)

書名	出版社	著者名	出版年
「参加の力」が創る共生社会 市民の共感・主体性をどう醸成するか	ミネルヴァ書房	早瀬昇	2018
”好き”を仕事にする力：スモールビジネスを立ち上げた100人の女性たちのリアル	PHPエディターズ・グループ	碓井美樹	2023
図解!ダイバーシティの教科書：ESG、SDGs経営に必携!	プレジデント社	木下明子	2023

貸出はおひとり3冊・3週間まで

児童書・絵本は裏面へ➡

書名	出版社	著者名	出版年	対象年齢
とんとん ももんちゃん	童心社	とよたかずひこ	2024	0-2歳頃から
おでかけ版 ふみきりくん	福音館書店	えのもとえつこ(文)、鎌田 歩(絵)	2024	2歳頃から
おじょうさんのおけしょうがかり	防災100年えほんプロジェクト実行委員会	たさききょうこ(作・絵)、御崎あおい(原案)	2024	4歳頃から
ぼうさいバッグのちいさなポケット	防災100年えほんプロジェクト実行委員会	twotwotwo<ににに>(作)、たかますあやか(原案)	2024	4歳頃から
たったひとつのおやくそく	防災100年えほんプロジェクト実行委員会	かなざわまゆ(作・絵)、よこばやしよしみ(原案)	2024	4歳頃から
月ようびはなにたべる?	偕成社	エリック・カール(絵)、もりひさし(訳)	1994	4歳頃から
おしごとそうだんセンター	集英社	ヨシタケシンスケ	2024	小学生頃から
うまのこと	光村図書出版	少年アヤ(作)、玉川ノン(絵)	2022	小学生頃から
おうち性教育はじめます 思春期と家族編	KADOKAWA	フクチマミ(著)、村瀬幸浩(著)	2022	10歳頃から その保護者
正解のない問題集 ポクらの課題編	Gakken	池上彰(監修)	2024	小学校中学年頃から
女子学生のキャリアデザイン 自分らしさとワークライフバランス 3訂版	水曜社	野村康則、竹内雄司 著	2021	高校生頃から
夢を叶えるために脳はある「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす	講談社	池谷裕二	2024	高校生頃から
ブロードキャスト	KADOKAWA	湊かなえ	2021	高校生頃から

『関東大震災 被災者支援に動いた女たちの軌跡』

浅野 富美枝(著) / 生活思想社

関東大震災から100年、残された記録をもとに、災害時の女性支援のあり方、女性団体のあゆみがまとめられています。関東大震災当時、ジェンダーという概念がない時代に、多くの女性たちが集まり、女性被災者支援に奮闘し、乳幼児のミルクの配布や、衣食住、子育て、仕事などの支援を行いました。被災女性のニーズに寄り添った支援は、現代の災害支援でも重要視されている、女性の視点にたった災害支援にも通ずる部分があります。ジェンダーの視点から、関東大震災、震災支援を読み解く1冊です。



『私の「結婚」について勝手に語らないでください。』

クアク・ミンジ(著)、清水 知佐子(訳) / 亜紀書房

女性の社会進出に伴い、仕事やプライベートに充実した日々を送り、「結婚しなければいけない理由がないから、非婚でありたい」と考える女性も増えています。自分で選択した非婚なのに、周囲からは「いつかは結婚」、「そのうち子どもがほくなる」などのいずれは結婚する未婚女性として扱われてしまうモヤモヤを書き上げています。「結婚する自由があるように」、「結婚しない自由」という選択肢だってあっていいはずと、非婚主義を掲げる著者の日常を綴っています。女性の生き方の自由さを感じる作品です。



『“好き”を仕事にする力』

スモールビジネスを立ち上げた100人の女性たちのリアル』

碓井 美樹(著) / PHPエディターズ・グループ

自分の“好き”を大切に、ビジネスを起業した女性たちの100の事例が収載されています。ネイルサロン、雑貨輸入業、ビーズとボタンの店、民族画のディーラー、傘ブランド、肉まん専門店など、自分の好きを追求した起業のインタビュー、アンケートが紹介されています。ビジネスになるなんて思わなかった、あなたの“好き”が、もしかしたらスモールビジネス起業につながるかもしれません。起業した女性たちに起こった、起業前後の心の葛藤や、物理的問題とその解決も取り上げており、起業に興味のある方におすすめの1冊です。



『うまのこと』

少年アヤ(作)、玉川ノン(絵) / 光村図書出版

自分のままでいられない、学校がきらりな主人公、“うま”の物語。学校生活の中で、自然と分けられる男の子、女の子の区別。自分はそのどちらもしっくりせず、自分らしくいたいうまは、教室の中で起こる、「女っぽい、女みたい」のいじりや、男らしくないと仲間になれない雰囲気、馴染めずにいる。しかし、あることがきっかけで、嫌いだっ学校生活が変わっていきます。男でも女でもないという感覚、ノンバイナリーというセクシュアリティをテーマに書かれた作品です。児童書ですが、大人の方にもオススメです。

